

臨床研究（調査研究）へのご協力をお願い

この度 神奈川県立こども医療センター 脳神経外科では「脊髄髄膜瘤」の患者さんを対象に「減圧術を施行された症候性キアリ 2 型奇形患者の現状」についての調査研究を行っております。本研究は当院での症候性キアリ 2 型奇形に対する減圧術の現状と治療経過を明らかにし、手術法について検討することで今後の同じ病気の患者さんへのより効果的な治療についての一助となると考えます。下記をお読みいただきご協力くださいますようお願いいたします。

【研究の目的】

症候性キアリ 2 型奇形に対する減圧術の対象患者の経過や治療成績について評価します。

【研究対象とする患者さん】

2000 年 1 月から 2017 年 12 月までに下位脳神経・脳幹機能不全に対し減圧術を施行した脊髄髄膜瘤の患者さん

【研究に利用する情報の項目】

調査はカルテ上から得られる診療情報により行います。

個人が特定できる情報は使用しません。具体的には以下の通りです。

在胎週数、性別、減圧術施行前の症状、減圧術施行までの期間、小脳下垂の程度、減圧術時の硬膜切開の有無、椎弓削除のレベル、術中小脳扁桃の確認、術後の気管切開の有無、経管栄養、人工呼吸器管理の有無、MRI、CT 等の画像所見

【本研究において情報の管理責任者】 脳神経外科 医師 福山 龍太郎、広川 大輔

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014 年 12 月 22 日（2017 年 2 月 28 日一部改訂））に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離したうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は脳神経外科の研究費で行っており、企業等からの資金提供は受けておりません。本研究についてご不明な点へのお問合せや、対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合は情報を使用することはありませんが、統計的解析開始後は削除できない場合があることをご了承ください。また、情報の利用をお断りになっても、診療において不利益を被ることはございません。

連絡先 研究責任者 脳神経外科

福山 龍太郎

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター

Tel : 045-711-2351 (代)

総務課 倫理委員会事務局 (内 2212)